



## 暖房、点検、ヨシ！ ～5つの点検で火災を未然に防ぎましょう～

### 1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）で、2019年から2023年までの5年間に発生した、電気ストーブ及び電気ファンヒーター（以下、電気暖房器具。）の事故は合計51件、石油ストーブ及び石油ファンヒーター（以下、石油暖房器具。）の事故は合計26件ありました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

#### (1) [電気暖房器具] 年別 府県別 事故発生状況

表1 [電気暖房器具] 年別 府県別 事故発生件数<sup>※2</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年	2019年	1 [ 1 ]	4 [ 2 ]	8 [ 5 ]	1 [ 1 ]			14 [ 9 ]
	2020年	3 [ 3 ]		7 [ 7 ]	1			11 [ 10 ]
	2021年		2 [ 1 ]	5 [ 4 ]	5 [ 3 ]			12 [ 8 ]
	2022年		3 [ 3 ]	3 [ 3 ]	2 [ 2 ]	2 [ 2 ]		10 [ 10 ]
	2023年			2 [ 2 ]	1 [ 1 ]		1 [ 1 ]	4 [ 4 ]
合計		4 [ 4 ]	9 [ 6 ]	25 [ 21 ]	10 [ 7 ]	2 [ 2 ]	1 [ 1 ]	51 [ 41 ]

（※2）[ ] は火災件数。

(2) [電気暖房器具] 府県別 被害状況

表2 [電気暖房器具] 府県別 被害状況<sup>※3</sup> (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的 被害	死亡	1 [ 1 ] ( 1 )	1 [ 1 ] ( 1 )	2 [ 2 ] ( 2 )	1 [ 1 ] ( 1 )			5 [ 5 ] ( 5 )
	重傷			1 [ 1 ] ( 1 )	1 [ 1 ] ( 1 )			2 [ 2 ] ( 2 )
	軽傷		1 [ 1 ] ( 1 )		1 [ 1 ] ( 4 )			2 [ 2 ] ( 5 )
物的 被害	拡大 <sup>※4</sup> 被害	2 [ 2 ]	4 [ 4 ]	15 [ 14 ]	2 [ 2 ]	2 [ 2 ]		25 [ 24 ]
	製品 破損	1 [ 1 ]	3	7 [ 4 ]	5 [ 2 ]		1 [ 1 ]	17 [ 8 ]
合計	事故件数	4	9	25	10	2	1	51
	火災件数	[ 4 ]	[ 6 ]	[ 21 ]	[ 7 ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 41 ]
	被害者数	( 1 )	( 2 )	( 3 )	( 5 )	( 0 )	( 0 )	( 11 )

(※3) []は火災件数、()は被害者数。物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※4) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

(3) [石油暖房器具] 年別 府県別 事故発生状況

表3 [石油暖房器具] 年別 府県別 事故発生件数<sup>※5</sup> (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年	2019年		4 [ 4 ]	1 [ 1 ]	2 [ 2 ]	1 [ 1 ]		8 [ 8 ]
	2020年		2 [ 2 ]	6 [ 6 ]	1 [ 1 ]			9 [ 9 ]
	2021年	1 [ 1 ]		3 [ 1 ]				4 [ 2 ]
	2022年	1 [ 1 ]	1 [ 1 ]		1 [ 1 ]		1	4 [ 3 ]
	2023年		1 [ 1 ]					1 [ 1 ]
合計		2 [ 2 ]	8 [ 8 ]	10 [ 8 ]	4 [ 4 ]	1 [ 1 ]	1 [ 0 ]	26 [ 23 ]

(※5) [ ] は火災件数。

(4) [石油暖房器具] 府県別 被害状況

表4 [石油暖房器具] 府県別 被害状況<sup>※6</sup> (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的 被害	死亡	1 [ 1 ] ( 1 )	2 [ 2 ] ( 2 )	1 [ 1 ] ( 1 )				4 [ 4 ] ( 6 )
	重傷			1 [ 1 ] ( 1 )				1 [ 1 ] ( 2 )
	軽傷	1 [ 1 ] ( 3 )	2 [ 2 ] ( 6 )		1 [ 1 ] ( 1 )			4 [ 4 ] ( 10 )
物的 被害	拡大 <sup>※7</sup> 被害		4 [ 4 ]	7 [ 5 ]	2 [ 2 ]	1 [ 1 ]	1	15 [ 12 ]
	製品 破損			1 [ 1 ]	1 [ 1 ]			2 [ 2 ]
合計	事故件数	2	8	10	4	1	1	26
	火災件数	[ 2 ]	[ 8 ]	[ 8 ]	[ 4 ]	[ 1 ]		[ 23 ]
	被害者数	( 4 )	( 8 )	( 2 )	( 1 )	( 0 )	( 0 )	( 11 )

(※6) []は火災件数、()は被害者数。物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※7) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

## 2. 事故事例の概要

### ■電気ストーブの事故

事故発生年月 2023年1月（兵庫県、50歳代・男性、拡大被害）

#### 【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品の電源コード部及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

電源コードのコードプロテクター部分に断線及び熔融痕が認められたことから、外力により電源コードが断線してスパークが発生し出火したものと考えられる。

### ■石油ストーブの事故

事故発生年月 2023年11月（滋賀県、80歳代・女性、拡大被害）

#### 【事故の内容】

石油ストーブを使用中、消火をせずに給油タンクを取り外して給油を行い、石油ストーブに戻す際、灯油がこぼれ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

事故発生時の詳細な状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、本体に異常燃焼や油漏れの痕跡は認められなかったことから、カートリッジタンクを本体に戻す際に灯油がこぼれて燃焼筒に接触し、着火して周辺へ延焼したものと考えられる。

## 3. 暖房器具の事故の再現映像について

暖房器具に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

#### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

担当者：製品安全広報課 宮川 七重、山崎 卓矢、清水 与也

電話：06-6612-2066 mail: ps@nite.go.jp